

**MORE INFO**

もっと詳しい情報は  
香川大学工学部HPへ!

[www.eng.kagawa-u.ac.jp](http://www.eng.kagawa-u.ac.jp)



図書館工学部分館



生協(学生食堂)



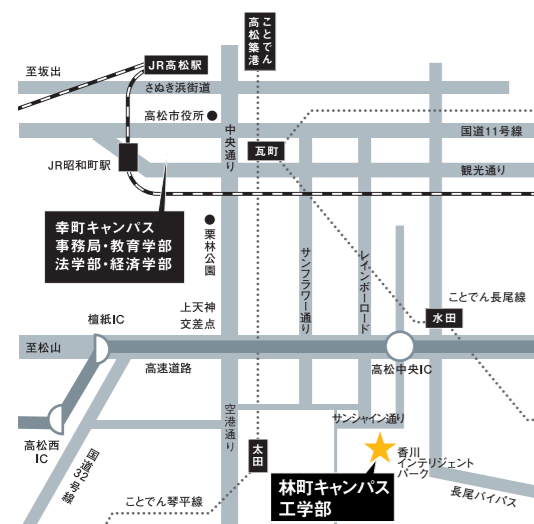
講義棟



実験研究棟(ものづくり工房)



社会連携・知的財産センター  
微細構造デバイス統合研究センター  
危機管理研究センター



**【Access】**

- JR高松駅から車で20分
- JR高松駅から ことでんバスの「65 レインボー・サンメッセ・フジラン十川」行きで(香川大学工学部前)下車
- ことでん太田駅より約2km、ことでん水田駅より約3km
- 高松空港から車で20分
- 高松中央IC(高松自動車道)から車で4分(約2km)

**東京方面から**

飛行機 東京—高松 約1時間

**関西方面から**

- JR 新大阪—岡山(新幹線) 約40分  
岡山—高松(マリンライナー) 53~57分
- 高速バス なんば—高松中央IC 約3時間  
神戸三宮—高松中央IC 約2時間半
- フェリー 神戸三宮—高松港 約4時間

【学生募集要項などの請求について】

● お問い合わせ先

香川大学工学部学務係

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20  
TEL:(087)864-2015 FAX:(087)864-2031

E-mail: [gakumu@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:gakumu@eng.kagawa-u.ac.jp)  
URL: <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp>

**関西会場で受験できます。**

香川大学工学部の一般入試のうち、前期日程を関西地区検査場で受けることができます。香川まで来なくても受験できるから、アウェーよりもホームで受験したいという方にぴったり。ふだんのあなたそのままの実力を発揮してください。詳しい内容や受験会場は、工学部HPや入試案内で決定次第お伝えします。

**オープンキャンパスにGO!!**

実際の工学部のような見に来てください!工学部では夏だけではなく、秋のオープンキャンパスも工学部祭と同時に開催します。このパンフでは伝えきれない研究や楽しさに触れて、ぜひあなたも香川大学に入学してください!

# 香川大学工学部

香川大学工学部・大学院工学研究科 案内

## THE PERFECT GUIDE 2013

工学部  
なう! **人工衛星KUKAI**  
香川から宇宙へ!

日本の宇宙開発が転機を迎えています。キーワードは超小型・低コスト。宇宙工学の先端でいま注目を集めているのが、香川大学工学部の超小型人工衛星開発プロジェクトです。作っているのは工学部の学生たち。人工衛星KUKAI。実際に打ち上げられるまでの1496日の物語です。

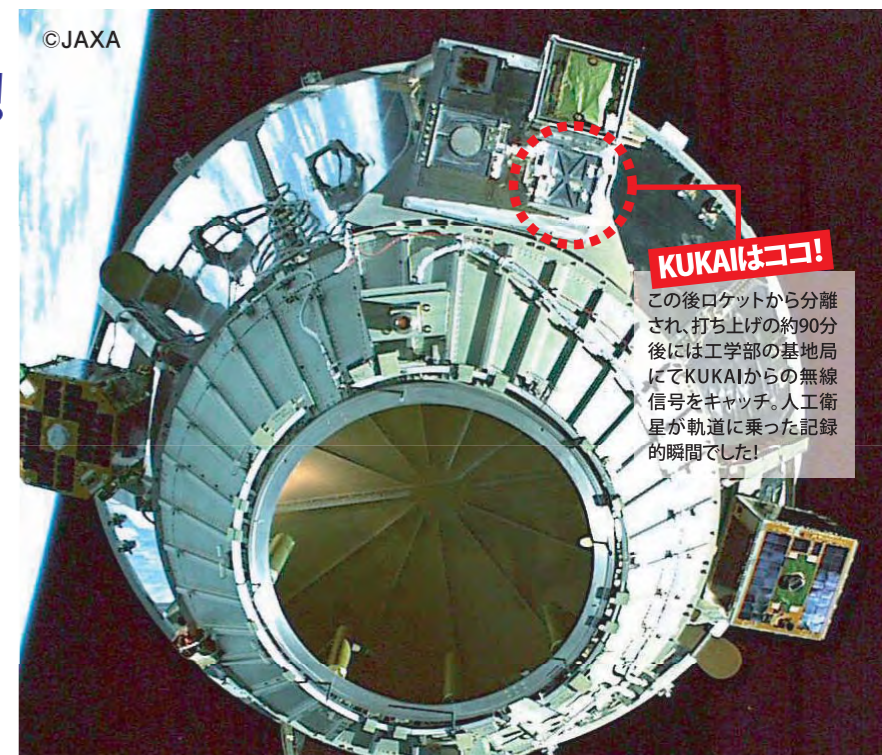
**TETHERED SPACE ROBOT "KUKAI"**

2009年1月23日午後0時54分。香川大学工学部の超小型人工衛星KUKAIを搭載したH-IIAロケットが、種子島宇宙センターから打ち上げられました。知能機械システム工学科の能見公博准教授と学生による手作り衛星が、西日本エリアの大学では初めて、打ち上げ&運用に成功した瞬間です!

はじめは空き缶で作る人工衛星CanSatの国際大会。能見准教授と一緒に参加した学生が「自分たちも人工衛星を打ち上げたい」と、2004年にプロジェクトを発足させました。でも最初はすべてが手探り。ホームセンターで部品を調達したり、コンテストで技術を磨いたり。道なき道を進む研究と製作が続きます。

そんな中、JAXA(宇宙航空研究開発機構)が公募した衛星いぶきの相乗り小型衛星に、KUKAIが厳しい審査を経て選出!地元企業の技術協力も得られ、産学一体の人工衛星作りは一気に加速しました。「JAXAとのやりとり、企業への技術依頼は主に学生が行います」と、実際にJAXAに行った博士前期課程1年の糸瀬理さん。企業との協働では「自分がCADで作ったものがカタチになるのは面白い」と、ものづくりの楽しさを語ります。

「このプロジェクトはどの学科の学生でも、1年生でも参加できます」と能見准教授。「迷っているとき、先生は「やってみれば」と背中を押してくれます。実際に打ち上げられるものを作るのが魅力!」KUKAIはロボット。動くものがある人工衛星は他にはないですよ」とは学生の声。四国で宇宙に一番近い場所では、次の人工衛星打ち上げに向けてもう動き始めています。



©JAXA

**KUKAIはココ!**

この後ロケットから分離され、打ち上げの約90分後には工学部の基地局にてKUKAIからの無線信号をキャッチ。人工衛星が軌道に乗った記録の瞬間でした!

「いぶき」搭載カメラによる衛星分離の様子(2009年1月23日) ©JAXA

ネバダ州の砂漠でCanSat競技中。国際大会には毎年出場。▼



2009年8月21日 四国新聞



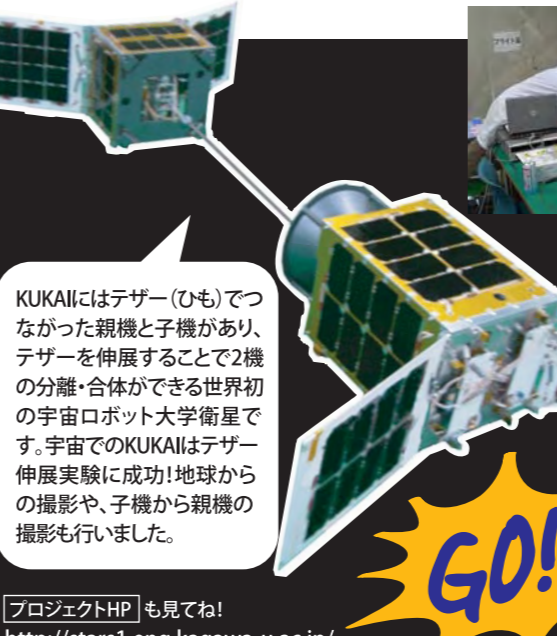
2009年1月24日 四国新聞 共同通信社



2008年1月1日 四国新聞



マスコミにも多数取り上げられました。



KUKAIにはテザー(ひも)でつながった親機と子機があり、テザーを伸展することで2機の子機が合体できる世界初の宇宙ロボット衛星です。宇宙でのKUKAIはテザー伸展実験に成功!地球からの撮影や、子機から親機の撮影も行いました。

**GO!!**

プロジェクトHP も見てね!  
<http://stars1.eng.kagawa-u.ac.jp/>

NEVER ENDING "KAGAWA SAT" STORY!  
現在は「香川衛星2号」を製作中。前より長いテザー制御に挑戦します。親機から子機の姿もカメラで撮る予定。

